

される。市民負担の状況はどのように変化するのか。

**市民部長** 平成24年度から住民税において年少扶養控除と特定扶養控除の上乗せ分が廃止され、所得税は平成25年から所得税額の21%が増額される。年収500万円が世帯主と収入のない配偶者及び16歳未満の子ども2人の4人世帯のモデルケースでの試算では住民税で年6万6千円、所得税で年4万5千500円の増額となる。

**議員** 市民に増税の痛みが伴う現実を、どのように認識しているのか伺う。

**市長** 市民の厳しい状況を

感じ取っている。

**議員** 痛みを共有する姿勢が必要だ。身を切る改革について所見を聞く。

**市長** 給与を下げる提案しかしてこなかったのに、職員は身を切る改革を推進しており、感謝している。

**議員** 内閣総理大臣は30%、国務大臣クラスは20%給与を削減した。一方、市長は昨年12月議会で給与を引き下げたが引き下げ幅は2%にも満たない。これでは身を切った痛みを共有していると言え切れるのか。

**市長** 適切な対応と認識している。

### 困難を抱える市民が希望を託するまちづくりを

にし色のつばさ 野村 羊子 議員



**議員** 社会生活上の困難を抱える若者への支援は、喫緊の課題だ。就業に困難を抱える若者たちへの就労支援の取り組みを伺う。

**市長** ハローワークとの連携による就労支援策推進のほか、みたか地域若者サポートステーションでも就労相談を受け付けている。



三鷹市西児童館・西社会教育会館

**議員** 市が積極的に若者を直接雇用し、就労のステップとなるような事業の実施を検討できないか。

**市長** 緊急雇用創出事業において、その後の就職に結びつく職歴になることを意識して取り組んでいる。

**議員** 家庭や学校・社会で傷ついた若者たちを支える居場所づくりが必要だ。子ども政策部長 居場所としての児童館等公共施設の活用の方など検討しながら推進していきたい。

**議員** 夜間も開館している社会教育会館で、学習支援等の場をつくれなにか。

**教育部調整担当部長** 社会教育会館の役割を再認識しながら検討していきたい。

**議員** 市内の住宅資源を活用したシェアハウスの推進など、将来を見据えた高齢

者の居住支援策が必要だ。

**健康福祉部調整担当部長** 施設の増設は、介護保険料の増額につながるため、負担とニーズのバランス等を考慮し、今後検討したい。

### 雪の影響と対応をまとめ 今後の対策に生かせ

自由民主クラブ 土屋 健一 議員



**議員** 本年1月14日の雪は本市でもかなり多い積雪量となった。市は積雪状況や被害状況を迅速に把握し、市民の安全確保や市民生活の不便解消に努める必要がある。車道、歩道、自転車道、三鷹駅前デッキ等の積雪への対応について伺う。

**都市整備部長** 業者や職員を動員し、各所で除雪作業や融雪剤の散布を行った。

**議員** コミュニティバスの新川・中原ルートと三鷹台ルートが連休になったと聞く。理由と対応を伺う。

**都市整備部長** 坂道が危険なため運休した。その後、運行ルートの除雪作業、融雪剤の散布を行った。

**議員** 雪対策における今後の課題等について伺う。

**市長** 降雪後の路面凍結の早期解消のため、凍結防止剤の確保が重要な課題だ。《その他の質問》中近東文化センターの一般公開終了について

### 企業誘致推進の強化で 市内の活性化と産業振興を

自由民主クラブ 加藤 浩司 議員



**議員** 日本の景気が良い方向へ進むと、企業は設備投資など新たな経営策を投じてくるのが想定される。企業誘致の観点から社会情勢について所見を伺う。

**市長** 優良企業の誘致を積極的に進めるチャンスであり、全庁を挙げて最大限努力をしていきたい。

**議員** 都市型産業誘致条例において指定の要件となる事業施設に、これからの成長分野として期待の大きい

ことだろうと考えている。

**議員** 事業用建物や設備の新設・拡張の際に災害時における応援協定等を締結している建設業者を活用したい。

### 感動・夢・希望を生み出す スポーツの振興策充実を

自由民主クラブ 渥美 典尚 議員



**議員** スポーツ祭東京2013では市内でサッカー、ソフトボール、アーチェリーが開催される。閉会後の各競技団体との交流において期待されることを伺う。

**市長** 関係を生かして、スポーツの普及を図るとともに市民のスポーツライフの充実を目指していきたい。

**議員** 平成28年度に新川防災公園・多機能複合施設(仮称)の地下に総合スポーツセンター(仮称)が完成する予定だ。完成後のスポーツ環境に何を期待するか。

**市長** より一層、スポーツ活動を通じて交流が促進されることを期待している。

### 夢のある三鷹の未来のために 決断へのプロセスを問う

自由民主クラブ 伊東 光則 議員



**議員** 第4次基本計画が昨年の3月に策定された。策定後も検証、見直しが行われていると考える。基本計画に限らず、様々な場面で行う決断のプロセスについて、①市長②教育長の基本的な考え方を伺う。

**市長** ①意思決定に至るまでに様々な市民参加の仕組み、協働のプロセスがある。市民の一人として長年にわ

市長 できる限り市民の幅広い意見を聞き、何が重要視され、求められているか、多角的な問題意識等を踏まえながら決断してきた。

**議員** 市長に就任し10年が経とうとしている。振り返り、

### 災害から命を守るために 自発的な自助・共助の向上を

自由民主クラブ 後藤 貴光 議員



**議員** 大地震で同時多発火災が起きると消防署が対応し切れないこと等、市民にどう説明しているか伺う。

**総務部長** 行政の限界について、率直な意見・仮定を素直に伝えていきたい。

**議員** 震災時の火災に対して、地域の消防隊等への期待は大きい。貯水槽の数や位置、可搬式ポンプの能力と延焼スピードを踏まえた役割の明確化を伺う。

**第二副市長** 危険のない一定の初期段階で、できるだけ活動を期待している。

**議員** ①上水断裂②電力途絶による、消防水利の供給停止への対応策を問う。

### 市民の健康管理・保健指導に レセプトデータの活用を

自由民主クラブ 宍戸 治重 議員



**議員** 市は事業の重点化と行政のスリム化推進のため、事務事業総点検運動を実施し、大きな成果を上げていく。今後のコスト削減等の取り組みには、更なる先鋭化と深化が求められる。

**市長** 事業のゼロベースからの検証など市民満足度の向上を前提に今後も事業の